

2026年3月期 第2四半期(中間期)
(2025年4月～2025年9月)

決算説明資料

2025年11月18日

株式会社 **カーメイト**

目次

2

1. 2026年3月期 第2四半期(中間期) 総括

2. 2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

3. 2026年3月期 通期計画

〔参考資料〕 □売上・利益推移 □配当実績 □経営指標



企業理念

CREATE - 創造 -

やってみる精神でオンリーカーメイト



経営理念

● 未来に向けた信頼品質でeモノづくり

- 安全安心で人とテクノロジーの調和を実現
- ESG 企業として地球環境に貢献
- 世界中のお客様から 120%の価値でご満足を

2026年3月期 第2四半期(中間期)

総括

代表取締役社長執行役員 徳田 勝

2026年3月期 第2四半期(中間期) 業績ハイライト

4

売上高 **61億95百万円** 前期比 減収(△9億53百万円 13.3%減)**営業損失** **△2億7百万円** 前期比 悪化(△2億46百万円)

■セグメント別

(百万円)

事業別(部門)	2026/3-2Q	構成比(%)	2025/3-2Q	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	6,195	100%	7,148	100%	△ 953	△13.3%
車関連事業	5,721	92%	6,612	92%	△ 891	△13.5%
・車用品部門	1,628	26%	2,242	31%	△ 614	△27.4%
・運搬架台・タイヤ滑止部門	1,209	20%	1,313	18%	△ 103	△7.9%
・ケミカル類部門	2,198	35%	2,210	31%	△ 12	△0.6%
・カメラ・電子電気機器部門	684	11%	846	12%	△ 161	△19.1%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業	474	8%	536	8%	△ 62	△11.5%
営業利益	△ 207	—	38	—	△ 246	—
車関連事業	331	—	510	—	△ 179	—
アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業	0	—	37	—	△ 37	—
全社費用	△ 539	—	△ 508	—	—	—

2026年3月期 第2四半期(中間期) 総評

5

		ポジティブ	ネガティブ
車 関 連	車用品部門	✓ チャイルド用品の売上好調 「クッション」「ヒヨケハグ(8月発売)」など ✓ ジムニー専用「デジタルランドメーター」発売	✓ チャイルドシート リコール実施 ※1 ✓ 純正用品 一部車種終了 ✓ 海外売上の減少(オートスポーツ用品)
	運搬架台・タイヤ滑止部門	✓ ルーフボックス売上好調 「ルーフギアケース」の新品追加 ✓ 値上・コスト削減にて原価率改善	✓ 一部新製品発売の遅れ ✓ 参入企業の増加(EC市場)
	ケミカル類部門	✓ 噴霧式ディフューザーの販売堅調 ✓ OEM事業の収益増加 ✓ 新製品が好調に推移 「ハレイロシリーズ」「ゼロタオル」など	✓ 海外売上の減少(芳香剤)
	カメラ・電子電気機器部門	✓ 酷暑対策需要(リモコンエンジンスターター) ✓ 海外売上の増加(米国・ドライブレコーダー)	✓ 市場縮小(H.I.D・ハロゲンバルブ) ✓ 国内市販市場の飽和感
ス ポ ー ツ 関 連 ア ウ ト ド ア レ ジャー	スノーボード関連	✓ シーズン前受注は堅調	(本格シーズン前)
	自転車関連	✓ 認知・需要の増加 (特定特例小型原動機付自転車)	✓ 販売シェア競争の激化

※1 2025年9月18日東京証券取引所 TDNETにて開示案件



「ヒヨケハグ」

ジムニー用「デジタル
ランドメーター」

「ルーフギアケース」



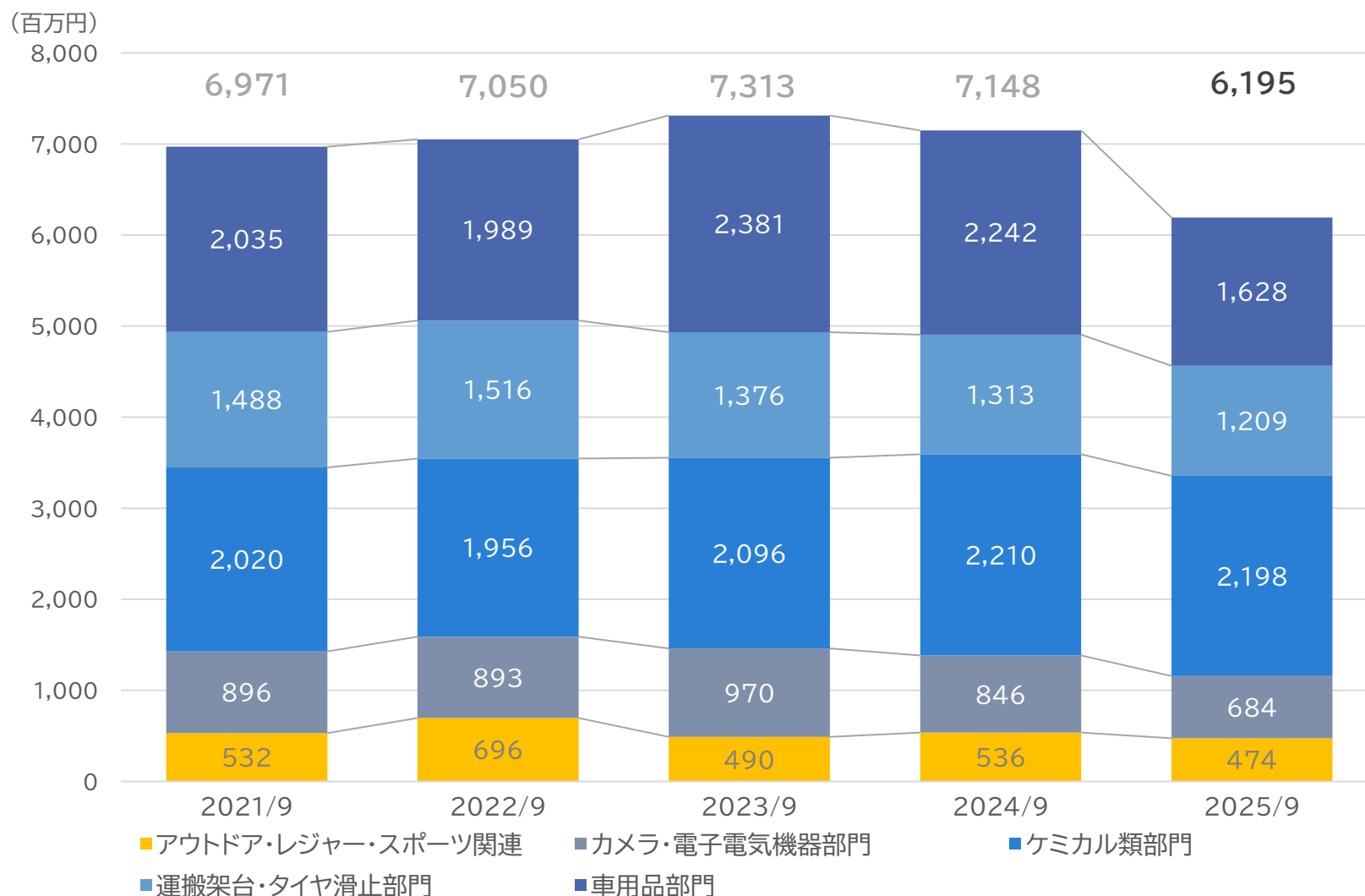
「ハレイロシリーズ」



「超吸収ゼロタオル」

2026年3月期 第2四半期(中間期) 年度推移

6



安全安心なモノづくり・品質第一の再徹底

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

執行役員経理部長 矢嶋 純一

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

8

売上高 61億95百万円**前期比 減収(△9億53百万円 13.3%減)**車関連事業 △8億91百万円 アウトドア関連事業 △61百万円**営業損失 △2億7百万円****前期比 悪化(△2億46百万円)**減収による粗利減 3億54百万円 販管費増加 44百万円

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

9

(百万円)	2026/3-2Q	構成比(%)	2025/3-2Q	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	6,195	100%	7,148	100%	△ 953	△13.3%
車関連事業	5,721	92%	6,612	92%	△ 891	△13.5%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業	474	8%	536	8%	△ 61	△11.5%
営業利益	△ 207	△3.4%	38	0.5%	△ 246	—
車関連事業	331	—	510	—	△ 179	△35.1%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連事業	0	—	37	—	△ 37	△99.1%
全社費用	△ 539	—	△ 508	—	△ 31	—
経常利益	△ 177	△2.9%	55	0.8%	△ 232	—
当期純利益	△ 253	△4.1%	19	0.3%	△ 272	—
一株当り当期純利益	△35円	—	2円	—	—	—
一株当り純資産	2,053円	—	2,164円	—	—	—
一株当り配当金	15円	—	15円	—	—	—

NOTES

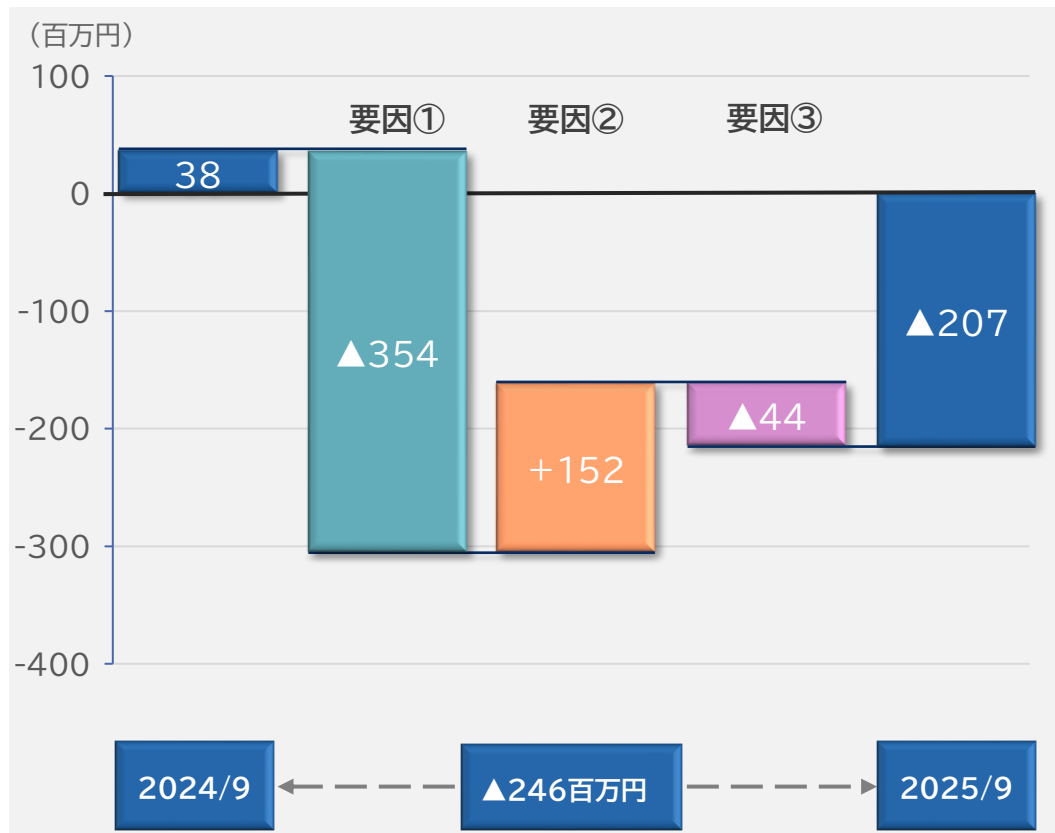
売 上 高 :車関連5,721百万円、アウトドア・レジャー・スポーツ関連474百万円

営業利益:減収による粗利減354百万円、販管費増加44百万円

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

10

◆営業利益分析



要因① 売上高増減による粗利の増減

・車関連	△337
・アウトドア	△17

要因② 原価率増減による粗利増減

・車関連	+155
・アウトドア	△3

要因③ 販売管理費増減

・車関連	+2
・アウトドア	△16
・全社費用	△30

+値は増益、△値は減益

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

11

◆貸借対照表の増減

自己資本比率73.0% +0.3P

2025/3 2Q
総資産21,005百万円

▲1,153百万円

2026/3 2Q
総資産19,851百万円

流動資産

17,256 → ▲880 → 16,376

現金及び預金 +220

売上債権 △467

棚卸資産 △590

固定資産

3,748 → ▲273 → 3,475

有形固定資産 △649

投資有価証券 +546

負債

(百万円)

5,735 → ▲371 → 5,364

有利子負債 △120

仕入債務 △132

純資産

15,269 → ▲782 → 14,487

利益剰余金 △1,012

その他有価証券評
価差額金 +342

為替換算調整勘定 △307

2026年3月期 第2四半期(中間期) 経営成績

12

◆キャッシュ・フロー

(百万円)	2026/3-2Q	2025/3-2Q	増減額
営業活動 キャッシュフロー	△483	△93	△385
税金等調整前当期純利益	△337	60	△397
減価償却費	20	164	△144
売上債権の増減	△98	2	△100
棚卸資産の増減	△140	△247	△107
仕入債務の増減	322	350	△27
その他	△250	△423	177
投資活動 キャッシュフロー	△219	△1,457	1,233
フリーキャッシュフロー	△703	△1,551	847
財務活動 キャッシュフロー	△268	△278	10
キャッシュの増減	△1,094	△1,693	598
キャッシュ 残 高	8,551	7,507	1,044

2026年3月期 通期計画

代表取締役社長執行役員 徳田 勝

2026年3月期 通期計画（連結業績予想の修正）

14

(百万円)	前回発表予想		今回発表予想		増減額	増減率(%)
	予想	構成比	予想	構成比		
売上高	15,595	100.0%	14,297	100.0%	△ 1,297	△8.3%
営業利益	818	13.2%	402	5.6%	△ 416	△50.9%
経常利益	890	15.6%	479	7.2%	△ 411	△46.2%
当期純利益	335	—	229	—	△ 105	△31.6%
一株当り当期純利益	47.52	—	32.51	—	△ 15	—

修正の理由

2026年3月期通期業績予想につきましては、主にチャイルドシートのリコールの影響による売上高の未達ならびに製品保証引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上した事による営業利益の落ち込みがあり、経常利益ともに前回予想を下回る見込みとなります。また、固定資産売却益約233百万円を特別利益として計上することにより、上記修正をするものであります。

(2025年10月31日開示済)

2026年3月期 通期計画 (前年対比)

15

(百万円)	2026年3月期	構成比(%)	2025年3月期	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	14,297	100%	15,523	100%	△ 1,226	△7.9%
車関連事業	12,804	90%	14,019	90%	△ 1,215	△8.7%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	1,493	10%	1,503	10%	△ 10	△0.7%
営業利益	402	2.8%	300	1.9%	102	34.0%
車関連事業	1,411	—	1,291	—	120	9.3%
アウトドア・レジャー・スポーツ関連	80	—	88	—	△ 8	△9.1%
全社費用	△ 1,089	—	△ 1,078	—	△ 11	1.0%
経常利益	479	3.4%	377	2.4%	101	26.8%
当期純利益	229	1.6%	△ 332	△2.1%	561	—
一株当り当期純利益	32.51円	—	△47.08 円	—	—	—
一株当り純資産	2,120円	—	2,103円	—	—	—
一株当り配当金	30円	—	30円	—	—	—

NOTES

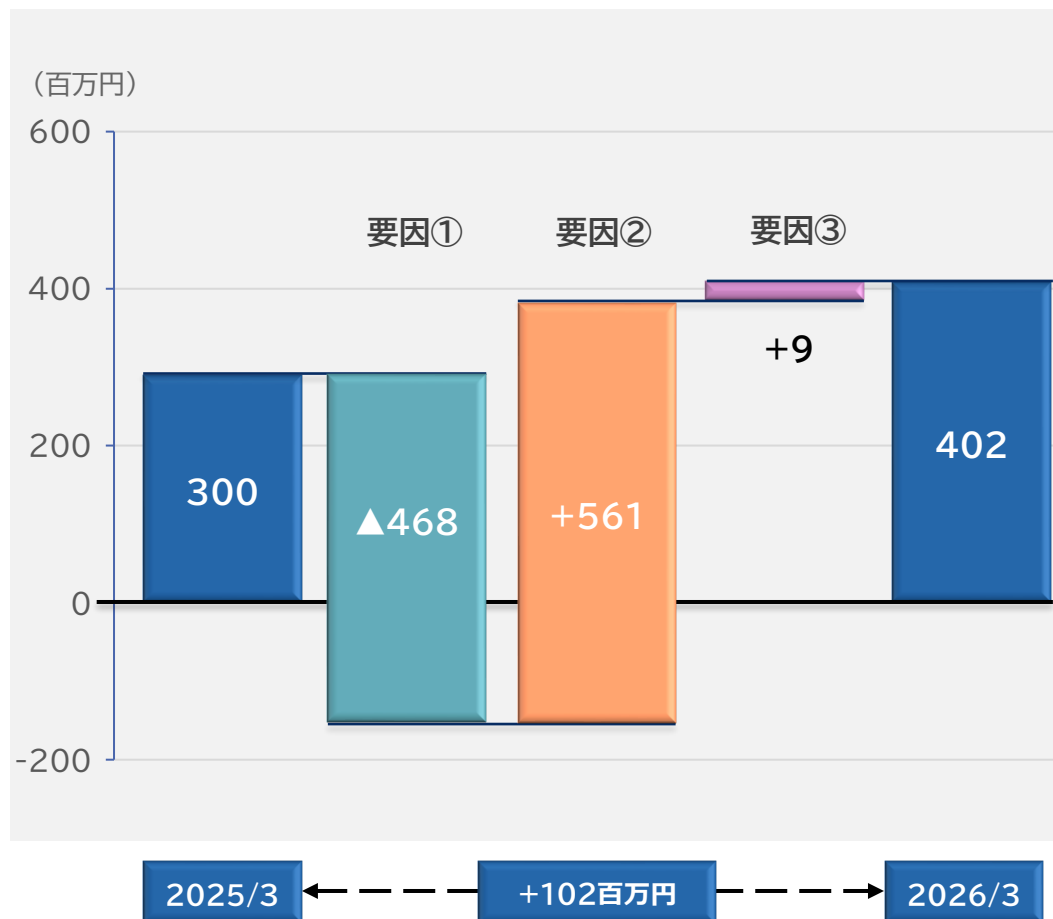
売 上 高 : 車関連12,804百万円、アウトドア・レジャー・スポーツ関連1,493百万円

営業利益 : 減収による粗利減468百万円、原価率改善による粗利増561百万円

2026年3月期 通期計画 営業利益

16

◆営業利益分析



要因① 売上高増減による粗利の増減

・車関連	△465
・アウトドア	△3

要因② 原価率増減による粗利増減

・車関連	+555
・アウトドア	+6

要因③ 販 売 管 理 費 増 減

・車関連	29
・アウトドア	△10
・全社費用	△10

※ +値は増益、△値は減益

セグメント別 連結計画 <車関連事業>

17

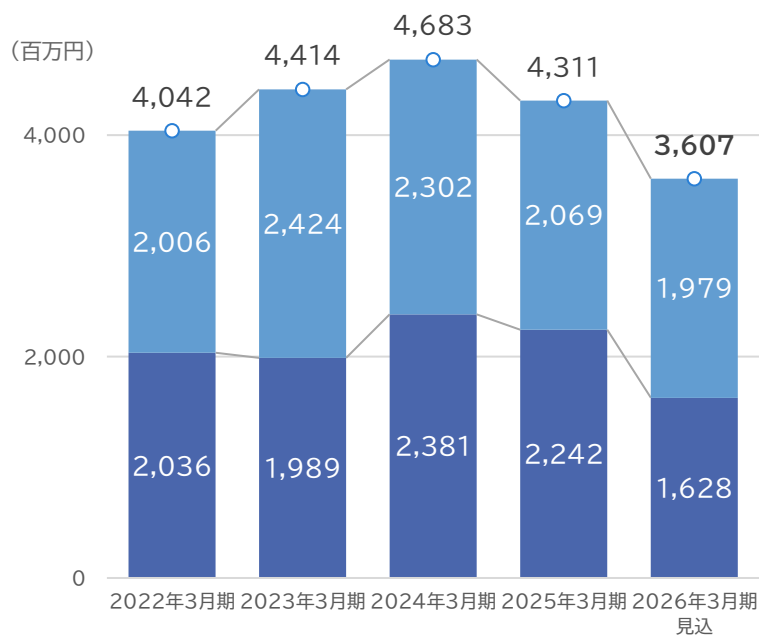
◆車用品部門

- ✓ 新創開発プロジェクト(4PJ)
- ✓ ペットカート市場への参入
- ✓ 純正用品 車種追加
- (✓ リコール対象のチャイルドシートは10月出荷再開済)



ペットカート
「GO.BUGGY Dog」→

←Apple社「探す」対応
カーチャージャー



■上期 ■下期 ○通期

◆運搬架台・タイヤ滑止

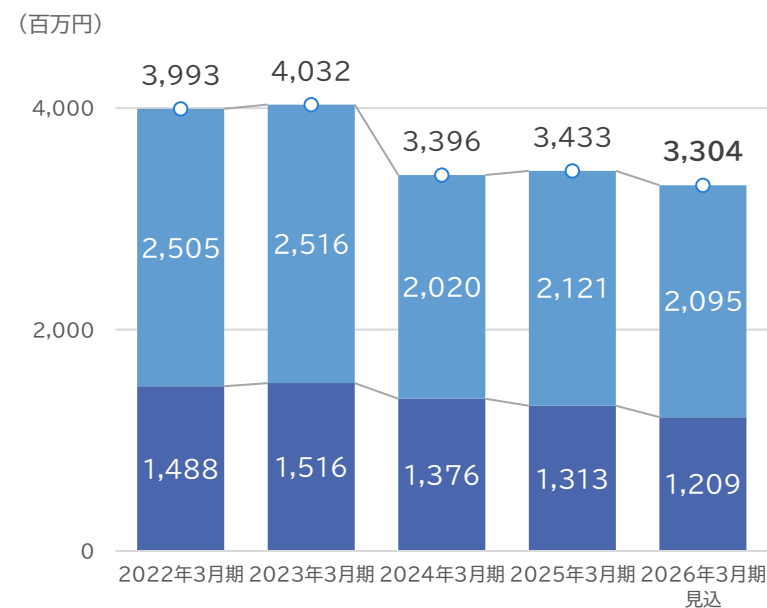
- ✓ 新型ローダウンルーフデッキ発売
- ✓ 収益改善(価格改訂・梱包)
- ✓ EC販売強化



エコパッケージ推進。
コスト改善に効果も→



←システムキャリアにもなる
車種専用「ローダウン
ルーフデッキ」



■上期 ■下期 ○通期

セグメント別 連結計画 <車関連事業>

18

◆ケミカル類部門

- ✓ 新創開発プロジェクト(1PJ)
- ✓ 噴霧式ディフューザー拡充(新製品)
- ✓ 26春新製品導入売上見込(Q4)



←ゼロワイパーフィルム
ムタイプ 車種専用ライ
ンナップ拡充

ワンタッチで2つの香
りを切り替えられる噴
霧式ディフューザー→



◆カメラ・電子電気機器

- ✓ コンテンツ改善(販促強化)
- ✓ 海外市場強化(USA)
- ✓ 次期製品開発

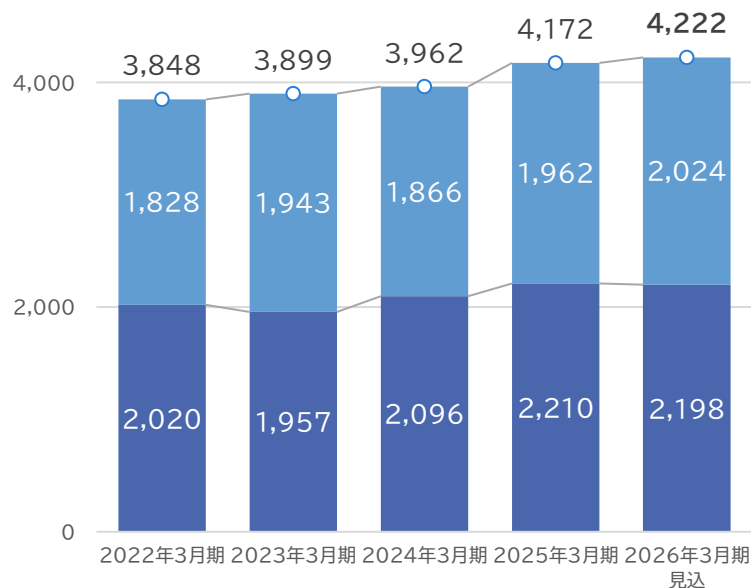


←全光束4500lm
(2灯合計値)の高輝
度LEDバルブ
(写真はBW5021)

SEMAショー(米国)にもド
ライブレコーダーを出展
(写真はDC4000RA)↓

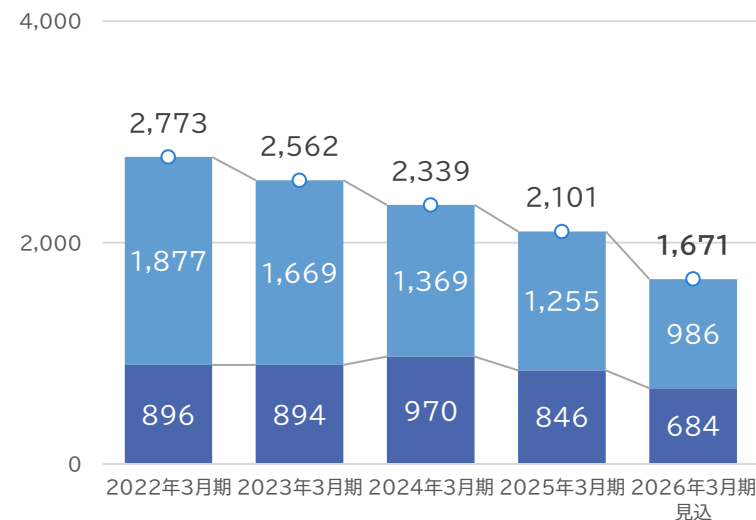


(百万円)



■上期 ■下期 ○通期

(百万円)



■上期 ■下期 ○通期

セグメント別 連結計画

<アウトドア・レジャー・スポーツ事業>

19

◆スノーボード関連

- ✓ 2025-2026モデル 受注堅調
- ✓ 海外市場の拡大(中国)
- ✓ コスト改善

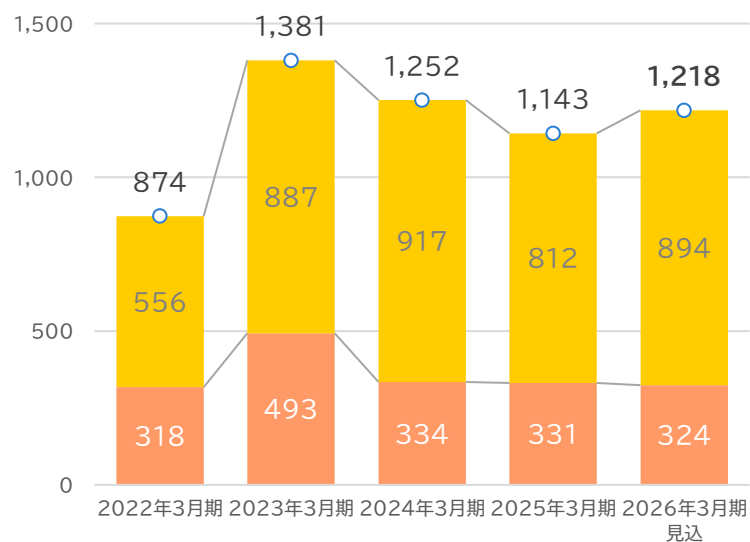


←FLUX「CX」
スノーボード用バイン
ディングの最新モデル
(左)

深圳にOPENした世
界最大の室内スキー
センター(右)→



(百万円)



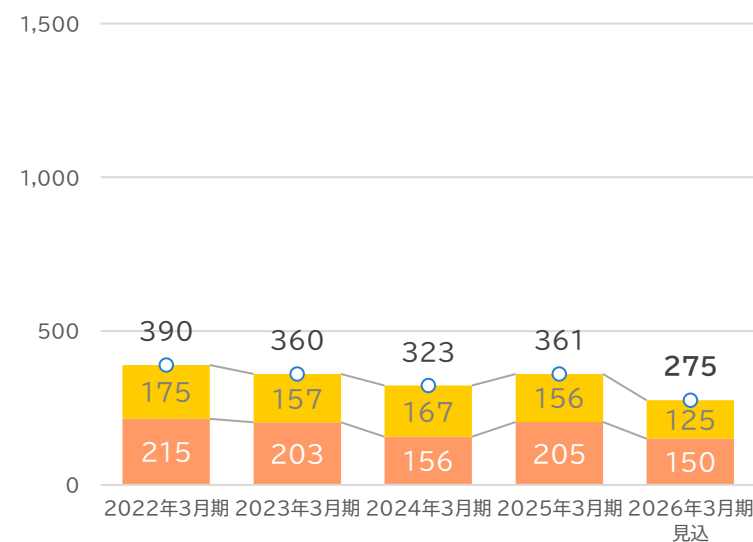
■上期 ■下期 ○通期

◆自転車関連

- ✓ 市場シェア獲得
- ✓ 新製品計画「e-FREE 02」



(百万円)



■上期 ■下期 ○通期

トピックス

20

◆Japan Mobility Show 2025出展



Japan Mobility Show

会期: 2025年10月30日(木)～11月9日(日)
場所: 東京ビッグサイト 東7ホール E7313

「エールベベ・3WAYクッションプレミアムを会場内
ベビーケアルームへ協賛



噴霧式フレグランスディフューザーのNEWモデルを公開。ワンタッチで香りが切り替えられるダブルタイプ(左)や内装にジャストフィットする車種専用タイプ(右・参考出品)を展示



「INNO(イノー)」から、ソーラー発電・蓄電・給電機能を備えた新型アタッチメントを展示(参考出品)災害時やアウトドアで活躍。

e-FREE



特定小型原付自転車タイプ第一号の認定車両。漕がない快感、100%電気で走る次世代モビリティ「e-FREE 01」。会場では新型「02」初公開

トピックス

21

◆SEMA Show 2025出展(米・ラスベガス)

米国自動車用品工業会「SEMA」主催のトレードショー「SEMA Show(セマショー)」に出展
期間:2025年11月4日(火)~11月7日(金)



Apple社「探す」アプリに対応した「カーチャージャー」シリーズを展示

2018年10月から米国販売を開始し徐々に認知を高めている「ダクション」シリーズの主力ドライブレコーダー「DC4000RA」と「DC2000RA」を展示



2003年からアメリカに進出している「INNO」は本場のオーバーランダーに通用するルーフボックス、ラック、ロードボックスなどに加え、新製品のバスケット、ルーフボード、カーサイドオーニングなども展示

トピックス

22

◆ペットカート「GO.BUGGY Dog」 発売



ベビー用品ブランド「エールベベ」から初のペットカート「GO.BUGGY Dog(ゴバグドッグ)」シリーズを2025年11月末より発売。犬用3輪バギーで、特長はアウトドアにも適応する市場最大級(※1)直径23cmのタイヤです。アウトドアフィールドでの走行性と快適性を追求し、愛犬との外出をより自由に、安心して楽しめる設計となっています。
(※1)国内ペットカートメーカーの3輪バギーにおいて(2025年10月現在当社調べ)



◆2025年度グッドデザイン賞受賞

※主催:公益財団法人日本デザイン振興会



INNO ルーフギアケース720



INNO ルーフボード

**GOOD DESIGN AWARD 2025**

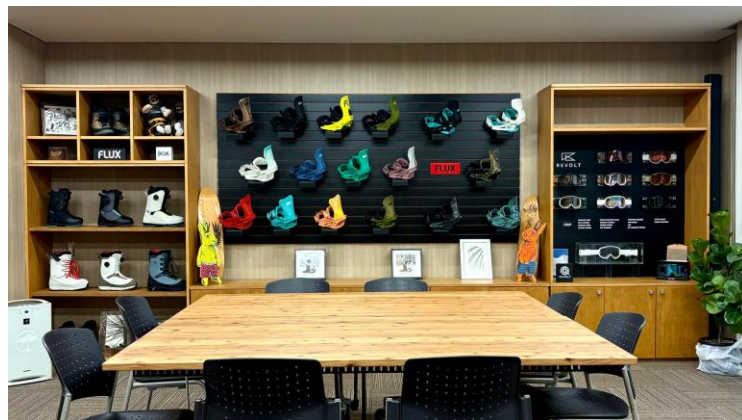
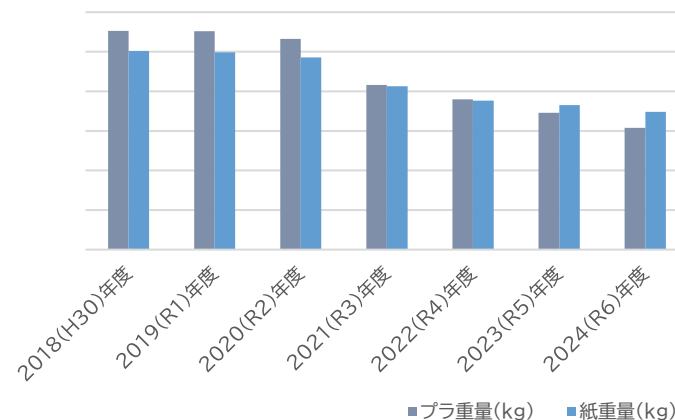
トピックス

23

ファシリティ・環境改善・SDGs

- ◆ 連結子会社である CARMATE CAR ACCESSORIES CO., LTD.(香港) 所有の事業用資産(建物等)売却
→ 譲渡益(見込)233百万円
- ◆ FLUXショールーム新設 (スノーボード関連事業)
- ◆ オフィスリノベーション(本社・環境改善)
- ◆ 脱プラスチック推進(SDGs)

プラ容器・紙容器排出量(kg)の推移

スノーボード関連事業(FLUX)のショールームを拡張し
リニューアル(BtoB)

本社の執務フロアを一部リノベーション(環境・働き方改善)

トピックス

24

60th
History1965
オートピロー1984
シュプールVT1990
パイアスロン クイックロック1993
「FLUX」 バインディング1996
「パーブルマジック」2002
エールベベ・クルット2010
「ドクターデオ」2017
ダクシオン 360 S2020
噴霧式フレグランスディフューザー

おかげさまで
カーメイトは来年、創立60周年を迎えます。

1965年、後付けヘッドレスト「オートピロー」の開発から
私たちの“モノづくり”は始まりました。

当時、クルマにはヘッドレストがなく

交通事故が社会問題となっていた時代。

「オートピロー」は“むち打ち防止に役立つ”製品として注目され
翌1966年、カーメイトが誕生しました。

それから60年。

カー用品をはじめとする多彩な製品を世に送り出してまいりました。

これからも私たちは、支えてくださったすべての方々への感謝を胸に
“ないものを創る”という理念「CREATE」のもと
新たな価値を創造し続けてまいります。

安全・安心品質で「eモノづくり面白カンパニー」の実現へ

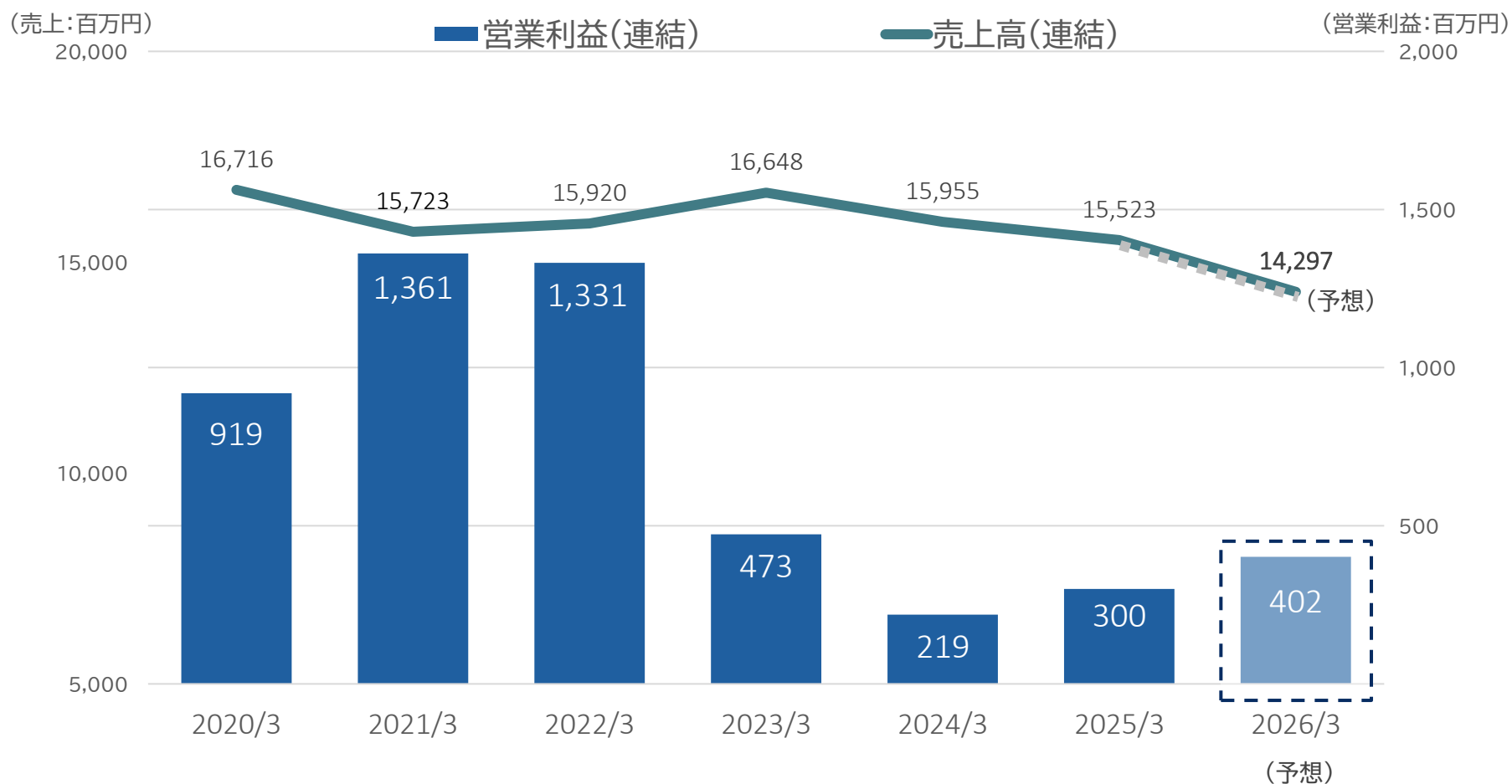
参考資料

売上・利益推移／配当実績／経営指標

参考資料

26

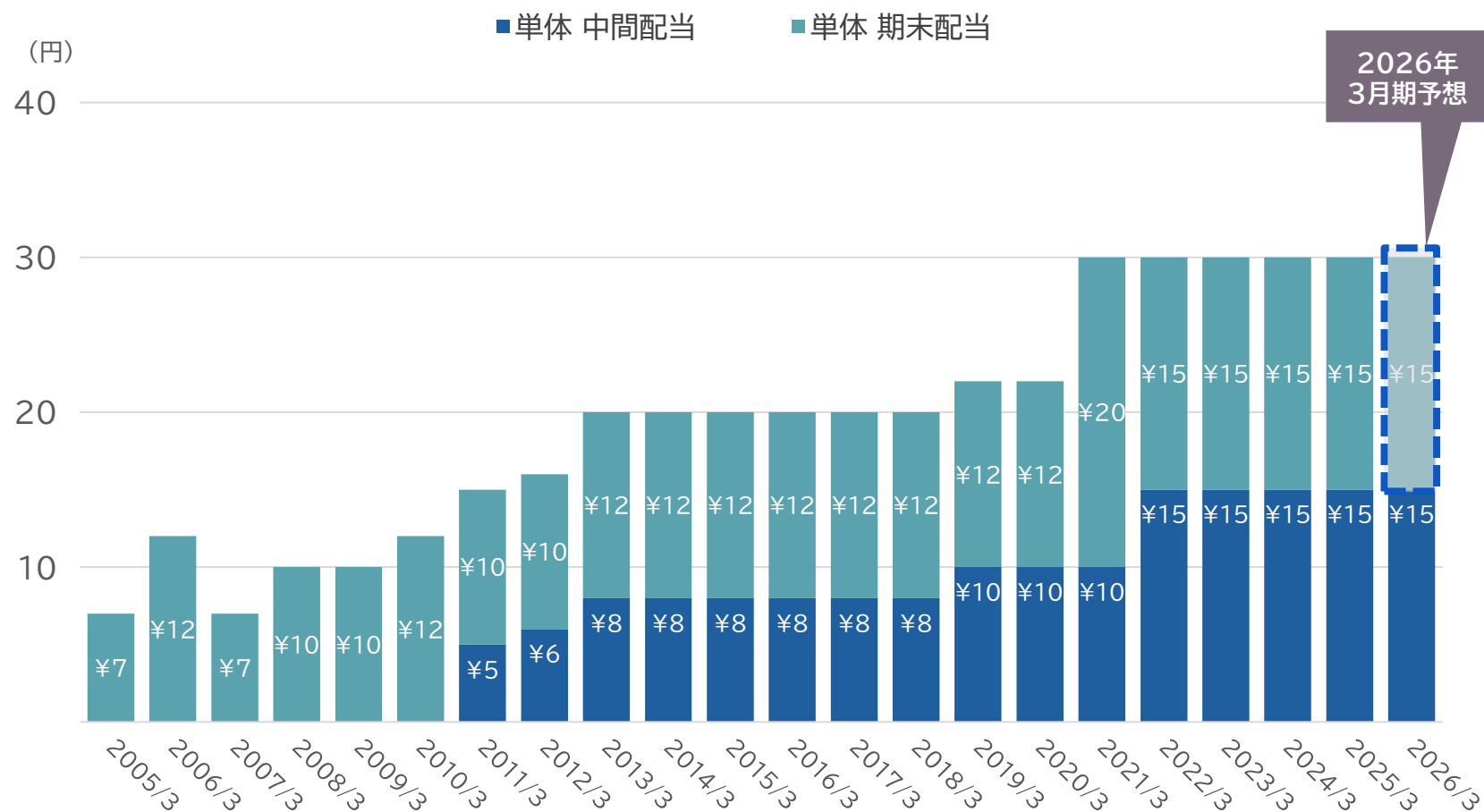
【連結】「売上高」「営業利益」の推移



参考資料

27

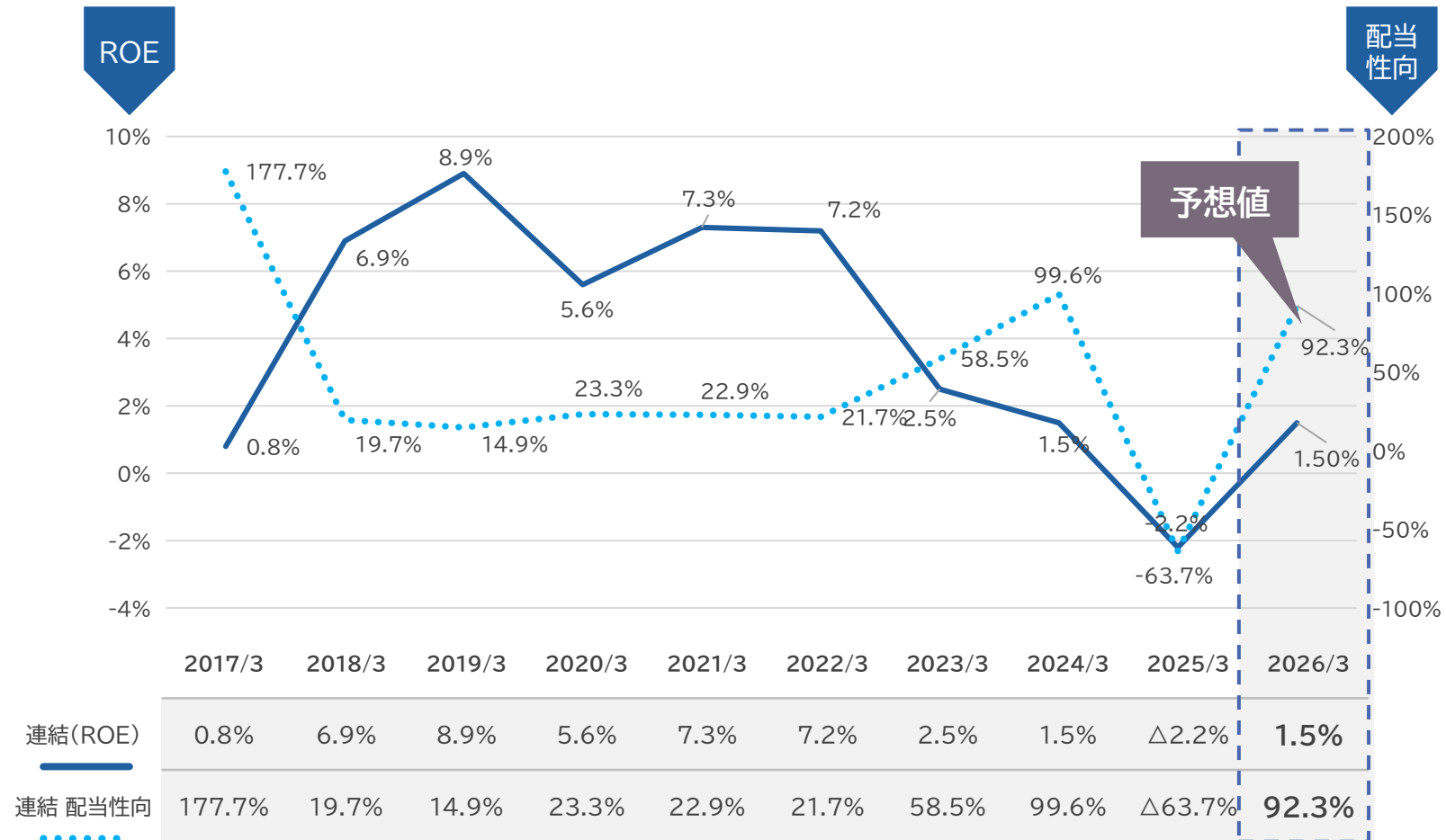
配当金の実績及び予測



参考資料

28

自己資本利益率(ROE)・配当性向





注意事項

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことを御了承ください。